

平成25年度 事務事業評価シート ※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	講座・教室の開催及び学校教育との連携事業						継続		
コード	24	-	88	-	02	-	01	予算事業名	博物館の充実
担当部署	教育総務部	博物館			教育普及担当		予算事業コード	会計 10 款 10 項 06 目 05	

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)		位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務
基本目標(章)	2章	学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち	実施計画事業名	なし
方向性(節)	1節	活力ある地域を創る生涯学習の推進	個別計画等の名称	なし
施策	1	生涯学習環境の整備・充実	当事業に関連する事務事業	なし
細施策	4	博物館の整備・充実		
事業実施の根拠となる法令・条例等	博物館法・文化芸術振興基本法・博物館の設置及び運営上の望ましい基準			

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	対象:児童・生徒・一般成人(市外を含む) 目的:児童生徒及び市民の多様な学習要求に対応できるよう、講座・教室などを開催し歴史文化の大切さを学ぶ。小・中学校との連携を進め、学校の教育課程に位置付けた博物館活動を実施。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	教育課程に位置付けた学習支援、子ども体験教室、子ども博物館教室、夏休み子ども体験、遊びの時間、むかしの勉強、むかしの遊び展、わたしたちの郷土川越展、博物館歴史講座、野外博物館教室、古文書講座、民俗芸能実演、土偶作り教室等を実施。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	1,944	1,892	2,024	2,063	1,745	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A	1,629	1,493	1,891	1,798	1,745	2,302
人件費 B	22,011	19,076	24,946	25,680	25,680	25,680
総コスト(C=A+B)	23,640	20,569	26,837	27,478	27,425	27,982
正規職員(1年間の従事人数)	3.00人	2.60人	3.40人	3.50人	3.50人	3.50人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源 E	0	0	0	37	60	60
市の財政負担(=C-D-E)	23,640	20,569	26,837	27,441	27,365	27,922

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果	児童・生徒向け主催事業の参加者人数	1,802	1,476	1,968	2,109	2,100	年度
	指標の定義・説明	児童・生徒向け主催事業の参加者数					
成果	成人向け主催事業の参加者人数	1,189	1,494	1,032	1,667	1,700	年度
	指標の定義・説明	成人向け主催事業の参加者数					
成果	学校教育として利用した児童・生徒数(市外含む)	25,237	24,656	32,812	31,168	32,000	年度
	指標の定義・説明	小・中・高校・大学生の年間利用者数					
成果	利用学校数(市外を含む)	256	275	324	322	320	年度
	指標の定義・説明	1年間に利用した小・中・高校・大学数					
指標に基づく評価	子ども向け事業及び大人向け講座の参加者が共に、昨年度より増加することができた。学校教育活動では、学習指導要領の改訂により、特色ある地域として川越市が埼玉県下の副読本に掲載され、博物館を利用した学習活動を他市町村へ働きかけたことから、学校数及び利用人数が増えた。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	
○講座・教室で、定員に満たない事業について、内容・広報活動等を検討する必要がある。 ○学校教育との連携については、学習指導要領の改訂に伴い、博物館利用者数が増となったため、更なる効果的な活用方法等を検討する必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
○教室・講座を廃止・縮小することは、川越の地域に根ざした歴史・文化を学習する機会を損なうこととなり、博物館の使命である「学習機会の提供」が果たせなくなる。 ○学校教育との連携は、市立博物館の特徴でもあり、廃止又は縮小することは、学校教育活動に大きな影響を与えることになる。	

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		教育総務部				博物館	教育普及担当
事務事業名称		24	88	02	01	講座・教室の開催及び学校教育との連携事業	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	継続					